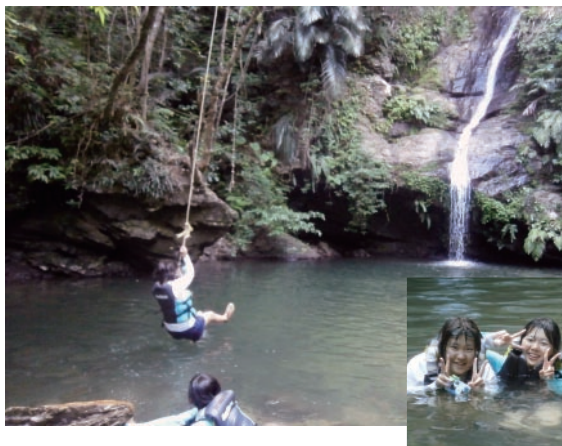


2013.10

第9回沖縄エコツアー 8月27～30日

この冒険・この出会い・この感動



この写真、どこだと思われますか。今年もやりました、第9回沖縄エコツアー。沖縄県国頭郡大宜味村辺りの山の中です。今年は、台風が近づき、カヌー乗りから、滝つぼへの自然観察トレッキングに変更、こんな楽しい場所に、ガジュマル自然学校の三浦さんに案内していただき、大喜び。突然出現した滝つぼで、女子大生が次々、飛びこみターザン！ 珍しい植物、生きものもたくさん見て感激の連続。



さらに今年度は、沖縄エコツアーで初めて、現地の小学生の夏休み学習教室を主宰しました。以前は200人ほどいた子どもたちが今は、20人ほどという。毎年お邪魔している、フクギ並木で有名な備瀬地区も（美ら海水族館の隣の村）高齢化・過疎の現実の問題を抱えています。歴史ある伝統行事を守りながら、素直でまっすぐな子どもたちに願いを託し、「勉強を教えてください。」と区長さんから強く依頼されました。

(2ページへつづく)



板二小1年生 ～いきものさがし～19種

10/3 板橋地区保小中連携研修会の公開授業

「生きものみ～つけ」板二小は、一昨年からは環境教育に全校で取り組んでいます。なんと、1年生がカエル、カンタン、カメムシ、セミとセミの鳴き声、コウロギ、ワラジムシ、スズムシ、トンボ、

(3ページへつづく)



SOE主催・秋の人気イベント・同封チラシをご覧ください。

■環境教育の体験3回連続講座…10/26、11/9、12/14

■大豆の講演とみそづくり体験会…11/2

■ネイチャーゲームリーダー養成…11/23-24

申し込み⇒TEL/FAX: 3960-6052 WEB: www.npo-soe.jp/learning

参加した学生たちは、夏休みの宿題をいっしょにやったり、ペットボトルでつくる万華鏡づくりを楽しんだり。また来年もという思いが…

以下はエコツアー参加者のふりかえり。

■「(学習教室にて) 最初は理解できていなかった子どもが工夫をして説明すると反応を示してくれ、復習をしてもきちんと理解をしてくれていたことに大きな喜びを感じました。自分も相手の子どもも成長しているように感じる事ができました。教師になりたいという気持ちが強くなりました。」O.K



フクギ並木を散策する参加者



はにかみやのかわいい村の子どもたち



でもみかんやゆず、柿などが実るので、親に任せきりにするのではなく手入れや収穫も手伝ってみようと思いました。今回、少し考え方が変わったような気がします。」H.T

■「沖縄の海でシュノーケリングを体験してとても楽しかったです。海の色も潮も魚の種類の多さも初めて目にするものばかり。泳ぐのが苦手な私に、友だちがコツを教えてくれたり、先生が向こうの海岸まで連れて行ってくれたりと、一緒に楽しめるように工夫してくれたことがとてもうれしく感動しました。」K.N

■「トレッキングの沢登りは沖縄といえども水は冷たく、ふくらはぎがとても疲れしました。様々な生き物、植物群にも興味津々でした。ゴールや期限を決めずに視野を広げて生きる、そういう生き方ができたらカッコよいのになあ。大自然に触れ合った素敵な一日」J.T.Y

ハグロトンボのなかま？



キノボリトカゲらしい



大きな種のアゲハチョウかな



■「シュノーケリング。海水を一気に飲み込んで、気分悪く…。ぼんやりと沖縄の海、島、海岸を眺めるのはとても癒された。夜のBBQガスバーナー最強。焼

滝つぼにあった岩石で滝つぼ美人!



備瀬海的美丽スズメダイ(コバルトスズメ)

いているのが楽しかった。」M.K ■「自身3度目のツアー参加。ゴミ拾いはせずに地元の子とも交流。夏休み宿題はいやなものです。がんばる子どもとがんばる先生たち。とてもよい企画だったと思います。トレッキング。予定外だったものの(カヌーが、トレッキングになり)インパクト大だった。たくさんの目が、たくさんの発見をしたってところがミソ。」S・M



「板二小1年生～いきものがし～19種」1ページからつづく



ツマグロヒョウモンのメスとオス（近畿以南にしかいないはず：写真）、ハチ、キリギリス、シジミチョウ、くものす、ガ、アゲハチョウ、カブトの幼虫（?）、ダンゴムシ、ナメクジなど、次々に発見してくる子どもたち。

10/3 板橋地区保小中連携研修会の公開授業、板一中、板六小、板七小、教育委員会の先生方へ各学年共、環境学習の開発的な授業を公開。手作りの東京地形模型で温暖化を体験させる意欲的な6年の授業を長沼校長先生が実施。SOEも協働してきた研究の一助にと、担任の浅見優子先生と共に、1年生の生きものがしのプログラムを実施。実は、昨

年の4月から校庭にビオトープを作り続けている学校です。校庭に、ツマグロヒョウモンはじめ何種類ものチョウやハチが飛びかって幸せな気分が広がる校庭です。

1年生のはっけん!

●土の中の虫は敵からかくれるため。 ●暗いところの虫は目立たないため。 ●草のところの虫はみどりの虫。虫は雨の日だけでなく、晴れていてもかくれることがわかった。

●カエルが雑草園にすんでいる。 ●ミミズは石のところにかくれていることが分かった。 ●ナメクジが雨じゃなくてもいるんだ。 ●板二小に生きものすむところがいっぱいあるのが初めて分かった。 ●虫は花がないとだめだと分かった。 ●虫となかよしになれてうれしかった。

●コウロギはバツタみたいにたくさん飛ぶこと、ダンゴムシは石の下にかくれていること。 ●生きものをこわがっていたけど、生きものが好きになった。 ●生きものに名前があるんだ。生きものは少ないと思っていたけど意外と多いんだ。 ●アリのすみかがあるんだ。 ●ワラジムシは、はっばのところにいった。チョウチョは花のところにとまった。アリはいっぱいだからあなにいました。 ●てきに見つけられないためにかくれる。 ●虫は晴れている時もかくれる。 ☀️☀️☀️



SOE創作紙芝居 はらっぱのかくれんぼ

実行力抜群!

「学んだあと、スーパーで、お肉など国産のものを買った。」
「お母さんにこの話をして、産地を見ながら買い物をした。」



中台中1年A、B組「食べ物はどこから—フードマイレージを学ぶ」9/17



男女協力して楽しそうに作業をしています

残暑が残る日射しの中、午前A組・午後B組が各2時間ずつ、食べものの産地を探して、男女グループで楽しそうに世界地図づくり、日本地図づくりを行い、フードマイレージを学んだ。

1年生たちは、どの生徒も、真面目に真っ直ぐな目で話を聞き、感心した。授業の準備には担任の先生だけでなく、佐藤校長先生に打合せから印刷物、ふりかえりの用紙まで作成していただいた。「親の心 子は知る」中学校である。

地図から、読みとったこと・分かったこと・実行を決意したこと◎中台中1年生

(SOEへの手紙から)

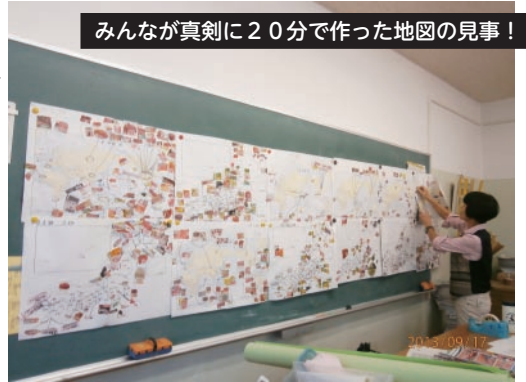
●輸入品を運ぶエネルギーをたくさん使うから、地球温暖化の原因になるし、こんな大切なことにどうして今まで気づけなかったんだろう。

●フードマイレージという言葉も意味も全く知りませんでした。そのことを知り私も自然環境のために安くて新鮮なおいしい国内産の食べものを買おうと思う。家庭菜園にも挑戦しようと思う。」●2班は、楽しく、みんな

で協力してわかりやすい地図が作れました。私は作ることが好きなので、野菜などをつくって、エコに暮らせればよいと思った。 ●私は最近、買い物に行ったり、朝食作りをしたりしている。この授業を受けてから、これは何産なのか、買い物の時だけでなく、家でも気にするようになりました。 ●寺田先生が例に挙げていた一日の献立食べ物は、国産が一つもなくてびっくりした。ぼくはこれからは、なるべく日本でできたものを買おうと思うし、その中でも、東京に近いものをえらぼうと思った。 ●短い時間でわかりやすいとても楽しい授業でした。この勉強をして、買い物に行くときは「今、自分がすんでいる東京に一番近い県を見つけて買おう」と思った。自分のためになる授業ができました。 ●母にこのことを話してこのことを知ってほしいです。



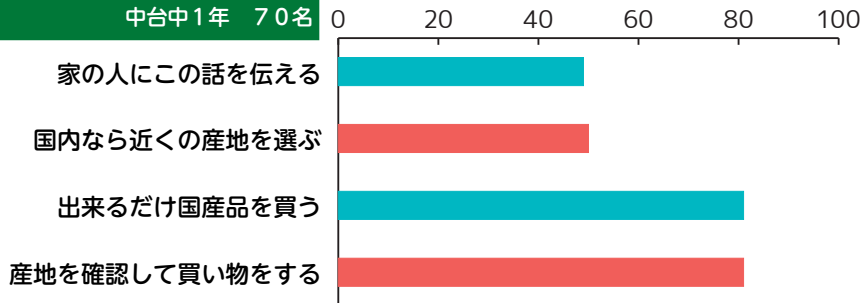
地図から読みとれることをシートに書きこむ



みんなが真剣に20分で作った地図の見事!

そして、大人になった時、この授業を生かして生活していきたい。 ●目標は、「食べ物を残さない。自分の量を調節。」を実行に移すためにはそのことを意識してやるのが大切だと思った。 ●一番印象に残ったのは、班のメンバーと協力して作った食べものの生産地マップで、キラシを貼る時が一番楽しかったです。 ●フードマイレージのことを周りの人に教えていきたいと思った。

フードマイレージを学んで実行しようと思うこと
中台中1年 70名



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp